

第20回「人間サイズのまちづくり賞」受賞

平成30年12月21日

本学園が、附属加古川幼稚園の新園舎を表彰対象として、第20回「人間サイズのまちづくり賞奨励賞(まちなみ建築部門)」を受賞し、12月21日(金)、兵庫県公館にて表彰式が行われました。

「人間サイズのまちづくり賞」は平成10年に制定された「まちづくり基本条例」に掲げる「安全で安心な魅力あるまちづくり」に寄与する優れた建築物や活動団体等を顕彰する制度で、

1. まちなみ建築部門
2. まちづくり活動部門
3. 花緑部門

の3部門があり、第20回目となる今年は、応募総数89件の中から知事賞12件、奨励賞13件が選ばれました。

表彰式では兵庫県まちづくり局 奥原部長から、附属加古川幼稚園 大村園長に対し、奨励賞が授与されました。



睦コンソーシアム事業報告

高大連携 新ビジネスラボ事業 実施

平成30年12月12日(水)、睦コンソーシアム事業の平成30年度新規事業の一つとして、「高大連携 新ビジネスラボ」事業を実施しました。

事業の趣旨	・附属須磨ノ浦高等学校の生徒を対象に多様化・グローバル化により激変する現代社会での「ビジネスのあり方」を提示しながらビジネスへの興味・関心を得る契機として、ビジネス知識や社会人基礎力の習得と新たなビジネスチャンスのアイデアを創造することとPBLを学修した学生の実践力の向上をねらいとする。 ・また、附属須磨ノ浦高等学校から現代ビジネス学部へ入学した学生の成長度を高校へと伝達し、生徒たちの学習や将来に対する生活意欲の向上も図る。
交流部門	・兵庫大学・兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
事業の概要	・附属須磨ノ浦高等学校(キャリア進学コースの生徒2年生)を対象に、大学の教員および学生による「新しいビジネス」のための基礎的な知識・技術・方法等に関する授業を実施する。 ・今年度は日本のアニメーションの品質の高さを意識し、そのコンテンツに息を吹き込む声優やDJなど「声」に関わるビジネスをテーマとした講演と、附属須磨ノ浦高等学校卒業生によるPBLによる学びでの実践を試みる。
実施時期	・平成30年12月12日(水)
実施場所	・兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
実施時の詳細	・附属須磨ノ浦高等学校キャリア進学コース2年生(当日の参加生徒数138名)を対象に、高校アリーナにて実施。 ・三宅伸二実行委員長(兵庫大学現代ビジネス学部教授)の挨拶の後、現代ビジネス学部3年生 DY ZYRA MAE NODADOさんを総合司会とし、現代ビジネス学部3年生 杉岡千佳さん、吉川瑞姫さんのOG2名が参加したプロジェクト学習である「SOTO-MANABI」のビデオ上映の後、プロジェクト学習を通しての学びと成長を生徒に語りかけた。また、司会のDY ZYRA MAE NODADOさんが担当した「高砂経済新聞」での新聞記者の体験談も披露され、現代ビジネス学部での学びを学生の生の声で伝えた。 ・メインとなる「声の仕事」に関してはDJ(ラジオのディスクジョッキー)やブライダルでの司会など「声の仕事」の経験がある、現代ビジネス学部 石川夕起子客員教授による講演を行った。実体験からの講演はキャリア進学コース2年生への仕事に対する心構えなど将来の就職時に役立つメッセージが込められた。 ・最後に、現代ビジネス学部 榎木学部長から次世代を担う生徒たちへのメッセージが伝えられ、閉式した。



記者として取材中!



取材!取材!!取材!!!



あおぞら 第64号

感謝 生かされる心 寛容 信じあう心 互譲 たすけあう心

兵庫大学・短期大学部

「熟議2018 in 兵庫大学」開催

平成30年11月18日



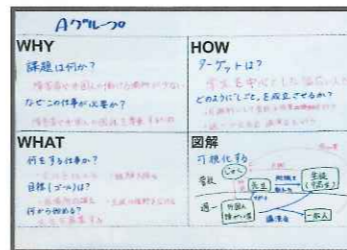
11月18日(日)兵庫大学17号館401教室で「熟議2018 in 兵庫大学」を開催しました。兵庫大学における「熟議」は、市民自らが地域の課題解決について多世代で熟慮し、議論をする機会と定義しており、平成24年に文部科学省との共催で開催したことを始まりに、今年は加古川市との共催により7回目の実施となりました。

今年は「しごと創り」をテーマに、高校生34名を含む60名が議論に参加しました。また今回は初の試みとして、動画配信による事前学習方法を導入し、本学の教員や加古川市職員を中心とした10名の講師を迎え、モデル地域となる加古川市の現状把握や、社会で求められている「しごと」や、「しごと創り」のための方法等について、熟慮を重ねていきました。

当日の第一段階の議論では、熟慮によって得た知識を振り返り、「こんな世界になったら良いな」という未来を起点にしたものや、「今ある、あれがもっとこうなったら良いな」という現在を起点とした2つの視点で、どのような「しごと」が必要なのかについて話し合いました。

第二段階の議論では、その「しごと」を創るために必要なことについて議論を交わし、企画書を作成しました。グループの代表は、岡田康裕加古川市長を交えた参加者に向け、自分たちの生み出した仕事の魅力や仕組みについてプレゼンテーションを行い、参加者は、市長と投資家、どちらかの立場を選び、それぞれの視点で、投資したいと思う企画に投票を行いました。「中学生・高校生・大学生のための職業体験を支援するしごと」や、「運送業者のための道路を使わず物を運びしごと」の企画案に多くの投資資金が集まり、岡田市長から様々な企画に対する講評を頂戴し、盛況のうちに幕を閉じました。

本熟議の取組み、成果につきましては「熟議2018 in 兵庫大学 報告書」として2019年3月中旬に発行予定です。



第18回兵大イルミネーション開催

平成30年12月10日~平成30年12月14日



日時:	平成30年12月10日(月)~14日(金) 18:00~20:00		
企画:	10日	18時~	点灯式
	10日~13日	18時30分~	軽音弾き語り
	14日	18時~	学生会による漫才
		18時30分~	お楽しみ会(ビンゴ大会)



毎年12月、寒くて暗くなったキャンパスをイルミネーションの灯りで飾り付け、遅い時間まで勉強やクラブ活動に取り組む学生、教職員や地域の方々楽しんでもらうために学生会が中心となり開催しています。

今年初めての取組みとして、兵庫大学12号館北側(芝生)で開催しました。芝生に電飾を敷き、ツリーも学生たちの手で一から作り上げました。点灯式では、学生、教職員が集まり、点灯時には大きな歓声があがりました。また企画として、軽音学部による弾き語りや、学生会による漫才、お楽しみ会(ビンゴゲーム)を行い、近隣の方々にも大いに楽しんでいただきました。

